

2018.06.29 織研新聞

8月にフォーラム開催

アジア・アパレルものづくりネットワーク(AAP)

8月にフォーラム開催

アジア・アパレルもの
づくりネットワーク

アジア・アパレルものづくり
ネットワーク(AAP)は8月
2日、メルパルク東京で「アジ
アでメイド・バイ・ジャパンを
進化させるAAP」をテーマに
フォーラムを開催する。アジア
での日系縫製工場の生き残りを
かけたメイド・バイ・ジャパ
ンのチャレンジとともに、サポ
ートインダストリーの調達、製造
の現状も紹介する。

基調講演はJUKIの本間君
雄理事が「ミシンメーカーから
見たアジア縫製事情とスマート
化の取り組み」をテーマに話
す。パネルディスカッションに
は、アパレル生産企業サントイ
の常川雅通社長、小島衣料の石
黒崇社長、検品加工でファッシ
ョンクロスフルシマの古島一男
社長、素材でサンウエルの安永
徹三執行役員テキスタイル販売
第1事業部事業部長、副資材で
清川の清川信雄専務、国際物流
で大森廻漕店の山崎豊国際本部
副本部長が登場する。定員20
0人予定(無料)、その後、懇
親会(参加費6000円)。申
し込みはAAPホームページか
ら。昨年のフォーラムでは26
0人が集まり、参加者同士の交
流も活発だった。